

・・・2月21日(金) 4年生103名の児童が10歳の節目を迎えました。・・・

『つ』が取れた年になったね。・・・ご年配の方から10歳を迎えると言葉かけされました。  
生まれてからひとつ・ふたつ・みっつ・・・このつ・・・と『年の最後につがついたものです。』  
10歳になると『つ』がなくなり、〇〇歳となり、それと同時に『大きくなったね。』といわれます。

それぞれの公立小学校では、成長を祝い、これまでの学びと10歳の節目を家族や地域の方々に感謝を込めて開催する発表会です。矢上小学校では、2月21日(金)に103名の子どもたちが感謝をこめて開催しました。



体育館の舞台に掲げられた横断幕。



体育館の会場に大勢保護者の方々が参観されました。



子どもたちが練習を続けてきた大縄跳びを披露



テンポよくリズムカルに跳ぶ子どもたち

#### 4年生児童の感想

ぼくは、今回二分の一成人式実行委員をしました。実行委員は、二分の一成人式にむけて呼びかけの収集や文を考えたり、初めの言葉、呼びかけ、大縄の説明を考えたりする活動をしました。

クラスでは、大縄の練習を体育の時や、休み時間を使ってやってきました。本番ではひっかかってしまって一組に負けてしまいました。少し悔しいところもあったけれど、全員で頑張ってきたので良かったです。

ぼくは、プログラムの中で、初めの言葉、合奏グループの説明、呼びかけの説明、そして司会をしました。

司会では、途中かんでしまったりして大変だったけれど、しっかり頑張ってやることができました。

今回の二分の一成人式で親に感謝の気持ちを伝えられたのでうれしかったです。

子どもたちの合奏や国語教材の『ごんぎつね』を創作して演じたり、感謝の呼びかけを歌で表現したり創作ダンスありで様々な演目があり、保護者の方々には、カメラのファインダー越しに涙が一筋見え隠れしていました。



澄み切った音色のリコーダー演奏



保護者・地域の方々が真剣に聴いていました。

#### 4年生児童の感想

私は、ついに十才になり、二分の一成人式を無事に成功させました。私は、合奏グループになりました。曲は全部で5曲です。『花が咲く』という曲以外の4曲は、学習したことがあったのですぐできたのですが、『花が咲く』全く知らない曲でした。友だちに聞きながら、練習していくうちに出来るようになっていました。1人ではできないところも、みんなでやるとできました。今回の二分の一成人式では、今までで一番友だちと協力できました。友だちは自分の練習もしないで、一生けんめいに教えてくれました。私は、そういうやさしい気持ちをもてる人になりたいと思います。これから、自分の練習するのも大切だけど、友だちにも気を配れるようにがんばりたいです。



創作『ごんぎつね』・・・なかなか工夫された演じ方に成長した姿が映ります。



多くの保護者の方々からの拍手が会場に響きました。



100名を超える子どもたちの感謝の歌声。



ダンス・ダンス・ダンス



子どもたちが創作したダンス演技・・・見事



ありがたい感謝の気持ち・・・お手紙を渡しました。成長を振り返り保護者の方からもお手紙が渡りました。

#### 4年生児童の感想

私は二分の一成人式で実行委員となり、司会を務めました。それを見てお母さんはすごくびっくりした様子でした。二分の一成人式の事をなにも話していなかったので、驚くことは予想していました。100名以上の前で発表するので、すごく緊張したけれど、あまり大きな間違いがなかったので良かったです。

プログラムの中に、お手紙の交換がありました。そこでお母さんが私にくれた手紙には、『父と母は、あなたが活着ているということだけで幸せです。生まれてから10年間、毎日いつもありがとう』と、書いてありました。いつも世話をしてもらっているのはこっちなのにと感じました。

でも、愛されていると感じました。

子どもたちが『あなたにありがとう』の合唱を参観者の方々にプレゼントしてくれました。



10年間・・・しっかり学んだ子どもたち



しっかり支えてこられた保護者の皆さん

#### 4年生児童の感想

僕が二分の一成人式で一番良かったというか緊張したのは、『あなたにありがとう』の合唱のピアノ伴奏です。

初めてみんなと合わせてひいた時も、結構緊張しました。本番では、観客の数と責任感がプレッシャーとなって椅子に座った時に、少し体が固まりました。実は、少し前のピアノ発表会が成功していたので、自信がありひどく緊張しないと思っていました。ですが、ソロで弾くのではなく伴奏です。ひどいミスをすると、歌えなくなってしまうかもしれません。ソロでは味わえない高さの緊張感・緊張度が余計に上がってしまいました。

でも、その緊張感は弾く前のもの。絶対失敗するもんか。と、ものすごく集中して弾きました。

やりとげた時は、肩の力が一気に抜けました。ソロでは味わえない責任感を味わいましたが、ソロにはない達成感も感じられました。

#### 二分の一成人式に寄せる言葉

矢上小学校 小林 みゆき校長

『二分の一成人式』が4年生の大きなイベントとして定着してきました。

本校は、親子交流会として行っています。内容は毎年少しずつ異なりますが、『ここまで成長してきたのは、家族のおかげ。家族に成長した自分を見せ、感謝の気持ちを伝えたい。』というテーマは変わりません。

今年は、子どもたちの案を中心に企画し、当日も子どもたちの力で運営されました。劇・ダンス・合奏の3グループに別れ、練習に練習を重ねた日々。ハプニングはあったものの、当日の子どもたちは、自分の力を発揮できた満足感にあふれ、『笑顔いっぱい 矢上っ子』でした。

